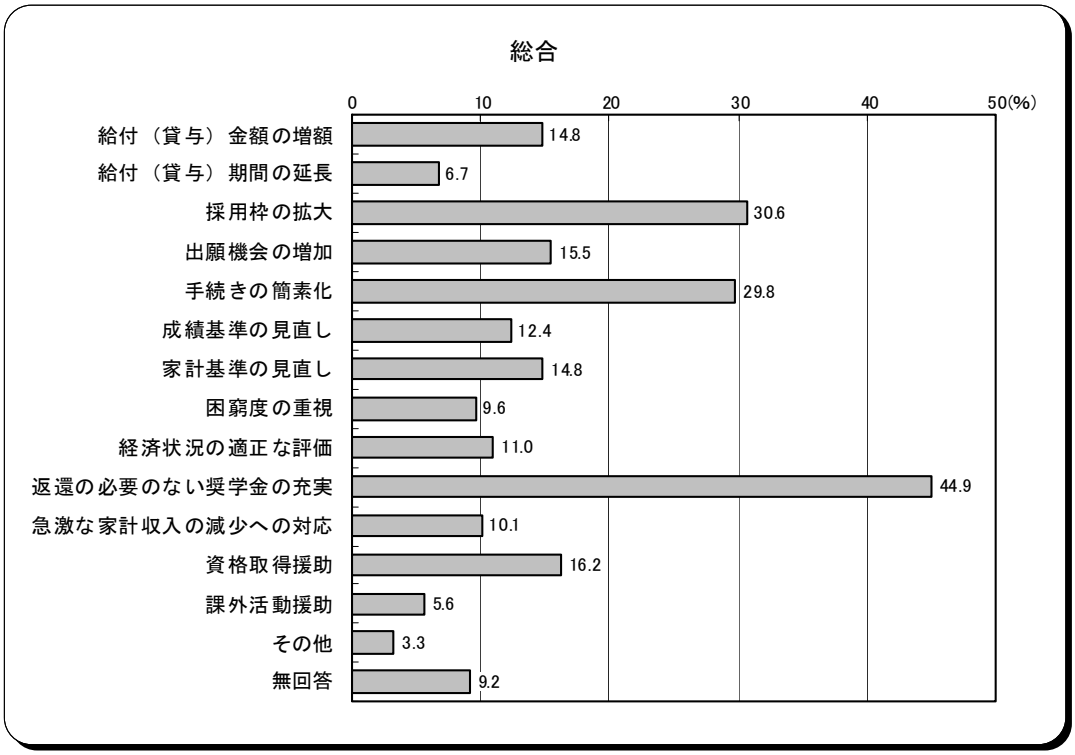
奨学金制度に希望すること

問13　奨学金制度に希望することは何ですか。３つまで選んでください。



給付奨学金の充実を希望

奨学金制度に希望する事項の1位は、「返還の必要のない奨学金の充実」で44.9%となった。貸与奨学金制度は、卒業後返還の義務があることを認識のうえ、終身雇用、年功序列など従来の日本的経営慣行が薄れていく中にあって、将来の雇用不安や債務を背負って社会人となることのリスクを回避する傾向にあることが見て取れる。

2位は、「採用枠の拡大」で30.6%。出願を伴わず学業成績優秀者を対象に通知することにより採用となる給付奨学金制度は採用枠数も限られており、「自分にまでは回ってこない」と悲観している実感が伝わってくる。

3位は、「手続きの簡素化」で29.8%となっている。奨学生選考の公平性を担保するため出願書類も多く、手続きが複雑となることは避け難いが、今後、可能な範囲で、より簡素な手続きが実現できるよう検討したい。